

N B N 通 信 8 号

名古屋点訳ネットワーク
E-MAIL:daihyo@n-braille.net
2003年5月発行

目 次

ご挨拶	1
NBN からお知らせ	2
参考になりました! NBN主催	
T-エディタの講習会、漢点字の紹介	2
仲 間 紹 介	
名古屋の点訳グループの活動から	4
名古屋市女性会館主催 企画・六点会 藤野高明氏講演会	
点訳グループ紹介	6
高浜市「点訳サークル モビール」	
名古屋市北区「北コスモス会」	

ご挨拶

みなづき会(天白区) 大倉 裕子

早いもので、6月の総会の時期が近づいてきました。去年までは傍観的に見ていただけだったのが自分が計画する身となりあつというまに深く考えることもなく一年を迎えようとしています。

浦口さんの講演会でいただいたアンケートで皆さんのお考えをお聞きしましたので、参考にして行きたいと思いつつ、なかなかはかどっていないのが現状ですが、総会で更にご意見をお聞きして来年度こそは、皆さんの活動にほんの少しお役に立つことがあればと思っております。

それぞれのサークルで運営の仕方が違っていると思いますので、参考意見をお聞きして皆さんのお知恵もお借りしたいと思っております。

また今回桑名のサークルのかたがデータ登録をしてくださって、福祉関係・英語教材の点訳本が登場していますので、読者のかたに教えて差し上げられたらと思います。登録図書みてくださいね。

登録図書利用が大きな活動と思いますが、点訳者自身の為の情報・・・点訳だけでなく、知りたい人は多いと思いますので皆さんからいっぱい情報をいただけたらと思います。名古屋に限ったことでなくていいと思います、遠方のかたも是非教えてください。

少しでも有意義な集まりとなりますように、ご協力をお願いいたします。

また一年よろしくをお願いいたします。

平成十五年五月



～ ～ ～ NBN からお知らせ ～ ～ ～

名古屋点訳ネットワーク総会

日時 6月15日(日) 1時30分

会場 名古屋市総合社会福祉会館(黒川・北区役所上階)
6階の多目的会議室

NBN の今後の活動にお力添えをいただくためにも万障お繰り合わせの上、たくさんの皆様ご参加下さい。楽しみにお待ちしております。



《名古屋点訳ネットワーク 講習会の報告》

T-エディタの講習会、漢点字の紹介



報告

4月20日(日) 午前・午後 会場は名古屋市総合社会福祉会館(黒川・北区役所上階) 6階の多目的会議室でT-エディタの講習会、漢点字の紹介開催しました。

午前中楽譜点訳研究会の横家容子さんにT-エディタの講習会をしていただきました。

午後、平瀬徹さんから漢点字の紹介とはづき会も協力する形で漢点訳の方法などを学習しました。

40名ほど参加者がありました。天候も不順な中、遠く愛知県外からも参加があり、みなさん、たいへん熱心に学習されました。

また6点漢字を使用している方、漢点字を読んでいる方も参加して下さい、実際に読んでくださったりご自身の体験などの発言もいただきました。

また、新しく開発されました漢点訳ソフトの紹介もありました。

感想

点訳ソフトの勉強会が終わりました。

NBNとしては2回目のお願いだっただんですが楽譜点訳研究会の横家さんが快くお引き受けくださり、開催できる運びとなりました。

急に降って沸いたような開催で広報があまりできなかつたし、横家さんの予定がちょっと変わり時間が短縮されてしまったのではありますが、今回も大勢の方の参加を頂き、うれしい限りでした。あまりこういう機会がないので楽しみにしていますとのご意見もいただき、ほんとはよかったですと思いました。

ちょっと使い慣れていない機能をご紹介くださいとのお願いに、音声を聞きながらの点訳に挑戦してみようかと思われた方が大勢出ました。これによってこの地域の点訳に変化が起こるかもしれませんね。点訳者としては楽ができるかもしれません。でも、気をつけましょうねえ。

午後からは全国的にも珍しい漢点字の紹介をしていただきました。点訳仲間であり、読者でもある大樹会の平瀬さんと漢点字の点訳をされているはづき会の木全さん。視覚の人たちのご意見をいただきながらの紹介会でしたが、いかに視覚の人が漢字を使う・読むことに感動を共にしてきたかが感じられるお話にうなずいてばかりでした。点字活動自体はかな点字より楽そう、と思いました。知らない方に教えて差し上げていただきたいと思っています。

皆さんと共に開催できてよかったと思う研究会でした。



.....

～ ～ ～ 名古屋の点訳グループの活動から ～ ～ ～

名古屋市女性会館主催の点訳グループ研修会

藤野高明氏講演会

企画・六点会

「点字とであって」

わたしの人生にさしこんだ一条の光

15年3月10日藤野高明先生の講演会が企画開催されました。

名古屋でもこういう講演会が開かれるということはすばらしいと感じます。

参加者の感想など、ここに取り上げました。

感想

藤野先生の講演会に参加させていただきました。

小学生低学年で "戦争" という時代を体験され、二重障害の原因となった爆発事故の様子を藤野先生は、お話ししてくださいました。

ご自身の身体以外に、いっしょに居合わせた弟さんを 亡くされたという辛い現実をうかがい、私には想像を絶する大変な体験をされたのだと思いました。

でも、藤野先生はとても前向きで、点字にであってからの人生についてユーモアをまじえてお話をしてくださいました。

先生が最後におっしゃった「父、母、妻、子供、恩師、友人に 支えられてきた人生・・・生きてきてよかった」という言葉は、大変 重みを感じました。

ほんの少しですが、点字の勉強をし始めた私でも、同じような障害をもつ方のお手伝いが何か出来ればと 強く感じました。

藤野先生のお話に引き込まれた、あっという間の2時間でした。

このようなお話をうかがえる機会を 作っていただき ありがとうございます。

(みなづき会 会員)

両目が見えず、両手首から先がない。

その人が、勉強して、働いて、自分の力で人生を歩んできた、わたしには衝撃でした。

わたしの考えでは、それだけの条件がそろえば、周りから助けてもらうだけの人になっているはずです。

でも違いました。

唇で点字を読み、勉強し、大学に進み、やがて教師になる。

なみたいいのことではなかったはずです。

しかも何かひとつするたびに、自分の障害と周囲の固定観念、そのふたつと闘わなければなりませんでした。

当時の大学は障害者は門前払いだったので、自分の障害をかくして受験し、通信教育の講座をうけたそうです。

たったひとりの勉強は孤独だったそうです。

これは、ご本人もおっしゃっていましたが、不合理です。
能力のある者が、身体に障害があるというだけで拒否されるのです。
他のことがらでも同じだったろうことは、想像に難くありません。
もちろん、お一人ですべてを解決してきたわけではありません、周りに助けてくれる人がたくさんいました。
でもそれは、ご本人が前向きで、他者を感動させ動かすだけの、情熱や真摯な姿があったからだろうと思います。
もし自分だったら、ひねくれて、周りから腫れ物にさわるような扱いを受ける人間になっていたでしょう。

希望をもち、あきらめず、困難をひとつひとつ乗り越えながら進んできた姿に、すごいとしか言えません、他に言葉が見つかりません。
社会が能力ある人間をつぶしてしまうことは、もちろん問題ですが、
わたしは、それを跳ね除けて前に進む人がいるということに、感動しました。
(はづき会 会員)

私は残念なことに藤野高明先生のお話を直接聴講することは出来ませんでした。それでも幸運なことにラジオ放送の声をお聞きすることができました。
人は皆いろんな出来事を体験しながら人生を進めていくのですが、藤野先生の体験とその後の生き方はただただ驚嘆の人生といえますね。
点字に出会うことで自分の人生を積極的に取り組んで行かれたお話は、わずかではありますが点訳をさせていただく私にとって、目に頼れない方々にとって今まで思っていた以上に点訳が大きな役目を持っていると知らされたように思いました。
こういうお話を聴ける機会は多くありません。この藤野先生の講演会を計画されました六点会さんに大きく拍手喝采したいと思います。(大樹会 会員)

.....
~~~~ 点訳グループ紹介 ~~~~

## 高浜市の点訳サークル モビール

高浜市の点訳サークル モビールです。こんにちは。

昨年夏に待望のHP <http://www.katch.ne.jp/~blind/> が完成。このHP上から“パソコンボランティア”の方が見つかったコト、ネット上からの点訳初依頼を受けたコト、活動の情報を随時発信できるコト...などなど活動の幅が大きく変わりました。このHPをごらんいただくとわかりますが単なる点訳サークルでなく、「もっと視覚のかたと交流を深めたい、もっと前向きに関わりがもてたら」という思いが活動の礎にあるところがちょっとユニークかな、というサークルです。

平成12年12月にモビールとは別組織で発足した『ブラインド ガイドボランティア シクラメンの会』と連携をとってイロイロな行事に積極的に参加しています。最近のうれしいことのひとつに 中途失明以来何十年もして点字と出会い、この半年ずっと毎週の定例会に通うかたがあります。「こんな面白い世界があったのか」と点筆を24時間腕につけて時間があれば打ったり読む練習

をしたりで、そのひたむきさには心打たれます。「サークルがこの町にあって、偶然の出会いがあって...言葉でいえないほど感謝しています」と彼の奥さんにいわれて、“まずは点訳技術の向上のみ”と8年前の会の発足当初、右往左往していた頃を思い出し感無量でした。

「入力が速い」「校正が確実」「パソコンに堪能」「人間点訳のてびき」...会員の個性はさまざまで、定例会では「これは?」「こんな新聞記事を見つけたけど...」など得意の分野で、自宅での点訳で疑問だったコトの相談ができる有意義な時間、それが毎週の定例会で、常時10人前後があつまっています。和気藹々で楽しく過ごしています。

これからもボツボツとユックリの足取りですが、視覚のかたとともに地道に歩んで生きたいと思えます。

## 北コスモス会

私たちは北区社会福祉協議会の点訳講習会受講者の有志から平成6年にスタートした活動歴10年を迎えるグループです。現在活動しているメンバーは10名。うち創立時のメンバーは1名だけで、出身講習会もいろいろな仲間ですが、皆、無理をせず、できることをできる形で協力しあい、息長く活動していこうという気持ちで点訳活動に取り組んでいます。

活動日は毎週火曜日。市の総合福祉会館6階の点訳室を活動場所とし、北区社会福祉協議会の助成金も毎年いただいて...と、大変恵まれた条件で活動させていただいています。

主な活動は市の公報や中日・朝日・毎日の各社新聞の抜粋を点訳し、主に北区内の利用者の方に郵送(月2回)することです。が、それ以外にも、ここ数年、利用者の方々との交流会を企画したり、小中学校の点訳学習をお手伝いしたり、北区社会福祉協議会の福祉企画に参加協力していくなど、点訳を軸にした幅広い活動でとても充実してきています。

また昨年の夏には県知事より表彰を受け、私たちのグループの活動を認めていただくことができたのだと会員一同気持ちを引き締めるとともにさらに張り切っているところです。

.....

### 〔編集後記〕

T-エディタの講習会は大変好評で喜んでいただいたメールをいくつもいただきました。

また、名古屋の点訳グループ「六点会」さん企画の講演会も好評で感想などいただきましたが、今回は全部載せられませんでしたことをここでお詫びと共におことわりいたします。

〔広報係〕

### 〔連絡先〕

名古屋点訳ネットワーク事務局

名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内

〒462-0844 北区清水4-17-1

TEL 052-911-3191(代表)

FAX 052-913-8553

NBNホームページ <http://www.n-braille.net/>

